

本誌「ふれあいパーク」は、ふれあいパーク活動に役立つ情報を満載して年2回お届けしています!!

## 中学生・高校生が「ふれあいパーク活動」を体験!

「2006夏! 体験ボランティア」事業(大田区社会福祉協議会主催)で男女15名が参加!

### 世代を超えて人と手を繋ぐ!

若い人たちもお年寄りの人たちが共にふれあえる元気なまちづくり、それが「ふれあいパーク活動」の願いです。公園での世代を超えての共通体験は、まさに新しい交流をもたらす、それを育てます。

### 活動グループと一緒に公園内で作業!



今、若い人の中では「社会に自分を役立たせたい」と、ボランティア活動を希望する人が増えています。



草木の多い公園ほど手入れも大変です

大田区社会福祉協議会(大田社協)では、毎年夏休み期間中、「夏! 体験ボランティア」事業により若い人たちにボランティア体験の機会を提供しています。今年の夏、ボランティアの学生15名がふれあいパーク活動に参加しました。これは、世代を超えて人と交流する機会になればと、大田社協と区との連携により実現したものです。

#### ◆充実感と満足感がいっぱい!

樹木の緑と花が彩る山王花清水公園では、7月25日(火)午後、ボランティアの高校生が、活動グループと一緒に「ふれあいパーク活動」を体験しました。春から夏にかけて、園内の草木が伸びるため、手入れが大変です。体験者は、作業と道具の取り扱いの説明を受けた後、作業を開始、専用の道具により、長く伸びた樹木の枝を次々と切り詰めました。約一時間半の作業で、うっそうとしていた園内もすっかり明るく



伸びた枝を専用の道具で切り詰める体験者



植え込みのゴミの多さに体験者もびっくり!

なりました。予定より作業がはかどったため、残りの時間はグループのメンバーとお茶菓子をいただきながらの歓談となりました。日常のことから自然保護まで話題が広がり、会話が弾みました。体験者は、作業を終えた充実感とともに、新しい人たちとの交流が生まれ、満足感を得たようでした。今回、受け入れて下さった「花清水弁天会」では、「若い人と有意義な思い出が残せて良かった。いつまでもこれを大切にしたい。再びお会いできる機会をお待ちしています」と、話していました。

#### ◆ゴミの多さにビックリ!

高層の建物に囲まれた大森東一丁目第一公園では、7月27日(木)午前、都立高校の男子グループが「ふれあいパーク活動」のボランティアを体験しました。

この公園は、空き缶やボトル、弁当がらなど「ゴミが多く、活動グループの「いきいきグループ」では、公園の美化に手を焼いています。今回の体験者は、若さとパワーがみなぎる学校のサッカー部の仲間で、心強い印象がありました。作業が開始されると、いくつかの組に分かれて、「ゴミ拾いと雑草取りを同時進行で」テーパーと取り組んでいました。見事な連携プレーで、園内に

散らしていた「ゴミをはじめ、植え込みの雑草やつる草などが、約2時間で取り除かれました。集められたゴミの量が、普段よりはるかに多かったため、活動グループのメンバーだけでなく、「ゴミの回収業者を驚かせました。」



2時間の作業でこんなに集まりました

## 納涼! 公園でそうめん流し

中央五丁目公園/もっと遊べる五丁目公園の会

高台に囲まれ、坂道の多い住宅街の一角にある中央五丁目公園では、8月23日(水)、毎年恒例のそうめん流しを楽しみました。

今朝まで生えていた竹を園内に運び込み、慎重に半分に分りました。それを木陰の下で組み立てて、準備完了したときには、お昼を回って



夏は手づくりのそうめん流し

ました。冷たい水が竹の筒に行き渡り、ゆでたてのそうめんが流れてくると、子ども達の歓声が上がりました。その笑顔に大人達もうれしくて皆一緒に楽しみました。竹を流れる涼しげな水の音、大勢の中で味わうそうめんは格別で、夏の暑さを忘れさせました。



そうめんはゆでたてです



ゴミはこの日も多く集まりました

◆8月には女子中学生も参加  
残暑きびしい8月24日(木)には、女子中学生のグループが大森東一丁目第一公園で「ゴミ拾い」を体験しました。「ゴミの多さに驚いていましたが、植え込みの中から新しい「ゴミ」を見つけると目を輝かせていました。」  
「今回、体験者に公園の実態を見てもらったことは、とても有意義なことでした。皆さん暑い中、本当によく活動していただきました」と、「いきいきグループ」では感謝の意を語っていました。

# 「ふれあいパーク活動」が テレビ放映されました！

TOKYO MX テレビ 10月8日(日) 昼12:00~12:30

ふれあいパーク活動が、この度お茶の間に紹介されました。TOKYO MXテレビが毎週日曜日正午から12時半に放映中の23区広報番組で、「シティーニュースおおた」「潤い空間をわたしたちの手で～ふれあいパーク活動の募集～」として10月8日(日)に放映されました。



## 皆さんの活動が お茶の間に！

10月8日(日)にMXテレビで放映された番組では、主に嶺町地区2団体の活動の様子が紹介されました。この内容は、区の広報番組「シティーニュースおおた」(区内ケーブルテレビ2社より放映中)の平成18年10月前半号(10月1日～10月15日放映)と

として製作されたものです。紹介された一つ、東嶺公園では「嶺町クラブ」のメンバーによる朝の清掃活動にあわせて撮影が行われました。メンバーへのインタビューも交えながら、収録作業は滞りなく終了しました。同じく紹介された東嶺相生児童公園では、「嶺町新緑の会」による公園での活動風景の他、文化センターでの同グループ主催の園芸講習会の様子が撮影されました。当日は雨にぬれながらの撮影でしたが、皆

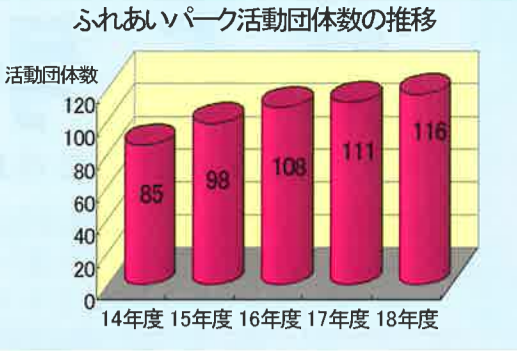


さんのご協力により、花苗を植える作業と日除け棚に突ったゴーヤ(苦瓜)を収穫する様子が、撮影スタッフにより無事に収録されました。その他、区内の特色ある活動内容や募集案内などが紹介されました。区では、今後も様々な機会を通じて「ふれあいパーク活動」を広くPRしていきます。



## 着実に増加！活動団体数

◆116団体に！(18年4月現在)  
公園を「地域の庭」に!!「ふれあいパーク活動」が平成14年4月に開始されて、今年(18年)は5年目になります。活動団体数も当初は



◆18年度新規活動団体の紹介  
今年4月から新規に活動している団体を、ここで紙面を借りてご紹介いたします。皆さんの暖かいアドバイスなどをいただければと思います。

- いんぐまママ(池上五丁目公園)
- 大森まっぴりカフふれあいパークたのしみ隊(新五丁目児童公園)

## 協働実験塾 「ふれあいパーク活動いろは塾」 今年も開催します！

昨年、好評でした協働実験塾「ふれあいパーク活動いろは塾」を今年も開催します。わいわいガヤガヤ！皆で意見を出し合しましょう。

◆カリキュラム  
part1 11月23日(木) 10時から12時 ふれあいパーク活動、連携・協働のためのキーパーソン講座「ふれあいパーク活動へのヒント」地域の縁側として・みんなの連携と協働での公園づくり  
『NPO法人まちの縁側育み隊』代表 延藤安弘氏(元千葉大工学部教授、熊本、神戸真野地区、世田谷のまちづくりにも取り組まれていて、様々な事例を通じて、連携・協働の公園づくりをお話いただきます。)

part2 12月2日(土) 9時から12時 実践！地域、学校、企業の集う「ぼくらの公園づくり」ワークショップ ～ふれあいパーク活動で楽しく一元気に～まちづくり

◆詳細は  
大田区民生活部区民・国際交流課区民協働担当 山本・吉田 電話(5744)1518

◆募集人員◆part1 40名 part2 20名

◆問い合わせ先◆  
大田区まちづくり推進部道路公園課公園管理担当まで 電話(5744)1319

開催します！  
「ふれあいパーク活動」パネル展  
「ふれあいパーク活動」を一般の方々に広くPRするために、今年もパネル展を開催します。

◆日時◆  
11月6日(月)から11月9日(木)までの4日間。

◆場所◆  
区役所本庁舎3階吹き抜け部分展示コーナー

活動団体の皆さんが作成した資料、チラシ、報告書その他展示物のご希望がございましたら、左記までご連絡ください。

## 夏を感じたスイカ割り！ 西蒲田太平橋児童公園 社会福祉法人プシケおおたかまた生活支援センター

長い梅雨で例年より短く感じた今年の夏。そのなごりを味わおうと、8月30日(水)に西蒲田太平橋児童公園にてスイカ割り大会を開催しました。また、公園で育てたハーブを使ったパスタ作りを、9月24日(日)にかまた生活支援センター食堂で行いました。



夏のなごりを味わいました

「かまた生活支援センター」は社会福祉法人プシケおおたかまたが運営する、主に精神障害者の方が利用する施設です。発達障害者を支援するNPO法人わーいんぐなど、地域の方々との活動をしていくかを話し合う「ふれあいパーク活動ミーティング」を毎月1回行い、様々な活動を展開しています。今までに植栽や、夏のなごりを味わうスイカ割り(写真はその



「あっち、こっち!!」と周囲も賑やか!



園内で育てたハーブ

ていき、精神障害を持つ方々が理解され、同じ地域の一住民として施設利用者の方々にも自分が暮らす地域を大事にしたい、という願いを持ちつつ、今後活動していきたいと思っています。

11月12日(日) 12時から(準備は10時30分より)、公園にて「芋煮会」を行いますので、興味のある方はぜひお越し下さい。

詳しくは、かまた生活支援センターまで。

担当 阿部島、梅井 電話(5700)6761